

(案)

令和2年12月 日

上市町長 中川 行孝 様

上市町総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略審議会
会長 山崎 正晴第8次上市町総合計画及び第2期上市町まち・ひと・しごと創生総合戦略
について（答申）

令和2年5月27日付け上企第90号で諮問のあった第8次上市町総合計画及び第2期上市町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について、本審議会でも慎重に審議した結果、下記の意見を付して別添のとおり答申します。

なお、計画の推進に当たっては、本審議会の審議過程で出された意見を尊重し、まちの将来像の実現に向け、積極的かつ着実に取組みを推進することを要望します。

記

- 1 上市町の喫緊の課題である人口減少への対策は待った無しの状況である。町外から新たに人を呼び込むため、民間の力を最大限に活用し、「いつ、誰が、どのように、いつまで、何をするのか」といった具体的で実効性のある戦略を立て、PDCAサイクルによる進行管理のもと、官民それぞれが役割と責任を持ち、地方創生の取組みを強力に推進されたい。
- 2 ウィズコロナ、アフターコロナの世界では、デジタル革命の進展によって分散型社会への変革が進み、地域間競争が益々激しくなっていくものと考えられる。都市から地方への人・もの・仕事の流れが加速する中で、「選ばれる上市町」を目指し、時代に合わせた変化にスピード感を持って積極果敢にチャレンジし、町外への情報の発信力と伝達力を高めるなど、町の魅力の更なる向上と周知広報の強化に努められたい。
- 3 上市町が未来に向けて発展を続けるためには、本計画を広く町民へ浸透させ、町が目指すべき将来像の共有を図り、町民それぞれが地域の課題を我が事として捉えることが重要である。本計画への理解を深めた町民、関係団体・事業者と行政が共通の目的に向かって力を結集し、オール上市の体制で地域課題の解決に取り組まれたい。